

平成28年度 政策づくり塾 第9回活動報告

第9回（1月13日）はイベントに向けた最終打合せということもあり、当日の流れやスタッフ配置等の具体的な進行について、それぞれのグループに分かれて議論しました。

読売新聞 清水支局長が塾活動の取材に来られました。

イベントに向けた課題

「舞鶴版スマートウエルネスシティプロジェクト」グループ

- 参加者を増やすことが必要（メール配信サービス、FMまいづる、市フェイスブックも活用したが、申込2組のみ。）
- イベントの準備とともに、活動報告会に向けた「政策提言」も検討。

「小学生の職業体験」グループ

- 30人の定員に対し120人以上の申込があり、参加企業と調整し、50人を受け入れる予定。安全でスムーズな運営方法の検討が必要。
- 申込者への参加通知（結果報告）の文書作成、具体的な体験内容、スタッフ配置、準備物などを確定する。



本日の議論のまとめ

～イベントに向けて最終確認・調整～

「舞鶴版スマートウエルネスシティプロジェクト」グループ

- 参加者を増やすため、今週末に向けて広報活動をさらに行う。
- イベントを成立させるためには、最低10組の参加は確保したい。
- 10組なら、全員がウェアラブル端末の使用ができる。
- 土下さん、竹ノ内さんが当日までウェアラブル端末を装着し、その感想を当日報告する。
- 規模の変更に伴い、イベントのタイムスケジュール、シナリオ、役割分担、アンケートの最終確認を行った。



「小学生の職業体験」グループ

- 当初より規模が大きくなるため、会場の他に駐車場の確保が必要。また、スタッフの増員が必要なので協力願いたい。
- スタッフの配置、当日の詳細な流れについて引き続き検討する。
- 申込者への参加通知（結果報告）の作成及び送付を行う。
20日（金）申込×切⇒抽選⇒23日（月）文書発送の予定
- イベントが迫る中、規模の変更に伴う混乱・トラブルが生じないように、引き続き準備を進める。



<アドバイス>

いずれのイベントも参加者が気持ち良く参加してもらえるように、また事故が起きないように、しっかり準備を進めること。

次回は活動報告会と修了式。全体で打ち合わせる場はないので、グループと事務局でやり取りしながら準備をしていただきたい。

第10回活動

2月20日（月）18:15～20:15 市政記念館 ホール
内容：地域公共活動報告会・修了式